

コロナ社会の災害への備え 避難所の新型コロナウイルス感染症対策

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

近年、気候変動などにより未曾有の大規模災害が頻発しています。新型コロナウイルス感染症が身近に潜むコロナ社会では、災害が起きたときに開設する避難所でも、感染症対策を行う必要があります。そのためには、従来よりも広いスペースが必要となり、避難所の不足が懸念されています。感染症のリスクを抑えながら災害から命を守るために、日頃からできる備えと、知っておきたい避難所の変更点についてご紹介します。



■問/県庁防災課 ☎058(272)1125

備え1 防災準備を見直そう

- 浸水害や土砂災害などの危険箇所を表示した**ハザードマップ**などを使い、もう一度**身近に潜む災害のリスク**を確認しましょう。
- 自宅の上層階への垂直避難や親戚・友人の家への避難など、**避難所以外への避難ができるかどうか**考えてみましょう。
- 避難所の生活で必要となるものを準備**しましょう。
(マスク、石鹸・消毒液、体温計、服薬中の薬など)
- 避難所の受付で提出する「**①避難者カード**」「**②健康状態チェックカード**」をあらかじめ記入しておきましょう。

①

【様式1】

避難者カード

氏名: _____

住所: _____

年齢: _____

性別: _____

職業: _____

電話番号: _____

緊急連絡先: _____

アレルギー: _____

持病: _____

その他: _____

②

【様式1B】

健康状態チェックカード (例)

当日の体調を記入し、受付に渡してください。

氏名 _____

記入日: _____

◆体調について

発熱はありますか	はい・いいえ
息苦しさがありますか	はい・いいえ
咳や匂いを感じられない状態ですか	はい・いいえ
喉やたんがありますか	はい・いいえ
全身倦怠感がありますか	はい・いいえ
嘔吐や吐き気がありますか	はい・いいえ
下痢が続いていますか	はい・いいえ

◆除去型マスクの着用について

除去型マスクの着用を促されていますか	はい・いいえ・不明
--------------------	-----------

備え2 これまでの避難所との変更点を知ろう

発熱や体調不良のない方は▶▶居住スペース

発熱や体調不良のない方が生活するスペースです。前後左右2メートルの間隔の確保や、高さ2メートル程度のパーティションの設置によって3密を回避します。

発熱や体調不良のある方は▶▶専用スペース

発熱や体調不良のある方とその家族が医療機関を受診するまで待機するスペースです。高さ2メートル程度のパーティションなどで飛沫感染を防ぎます。



最初はココへ▶▶事前受付

避難所に入る前に、検温と健康状態チェックカードを使って発熱や体調不良のない方とある方を分離します。それぞれ「居住スペース」と「専用スペース」に分けて誘導することで、避難所内に感染が広がることを防ぎます。

覚えておこう!

避難所生活 新しい5つの注意点

- ① 常にマスクを着用
- ② 手洗い・消毒を徹底
- ③ 毎日検温して体調をチェック
- ④ 自分の居住スペース以外で食事をとらない
- ⑤ ゴミは家族で管理し、密閉して廃棄



今すぐお気に入り登録しておこう!

いざというときに備える3つのサービス

岐阜県総合防災
ポータルサイト



警報、注意報をはじめ、県内の防災に関する情報を1つのサイトでご覧いただけます。

ぎふ山と川の
危険箇所マップ



郵便番号を入力すると、洪水や土砂災害のおそれのある箇所をご確認いただけます。

YouTube /
「災害から命を守る岐阜県民運動」
公式チャンネル



動画配信サイトYouTubeにて、防災に役立つ情報を随時配信します。

豪雨による災害が発生しています 必要な準備はできていますか?

コロナ社会では、避難所以外の安全な場所で避難していただくことも必要になりますが、自分の命を守るためには、躊躇なく避難してください。



県庁防災課 岩垣津 信太郎さん